

## 事業事前評価表

### 国際協力機構南アジア部南アジア第三課

#### 1. 案件名 (国名)

国名：スリランカ民主社会主義共和国

案件名：ジャフナ教育病院中央機能改善計画

Project for the Improvement of Central Functions of Jaffna Teaching Hospital

#### 2. 事業の背景と必要性

##### (1) 当該国における保健セクターの現状と課題

スリランカ民主社会主義共和国（以下、スリランカという。）政府は国家開発政策「マヒンダ構想」（2010年-2016年）の中で、「健康な社会の形成」「地域間格差の是正」を打ち出し、優良な保健・医療システムの構築をめざし、医療サービスの向上や各地区のトップレファラル病院の整備を実施している。

約20年間にわたる紛争の影響を受けたスリランカ北部・東部地域は、医療従事者一人当たりの人口比は全国平均の約2倍となっており、保健医療サービスの改善が急務となっている。ジャフナ教育病院は北部州の唯一のトップレファラル病院であり、かつジャフナ大学医学部の教育病院としての機能も兼ね備えているが、この地域の下位医療施設の多くは内戦により多大な被害を受け機能不全となっているため、第1次、第2次医療施設の機能も担っており、患者が集中している。同病院の施設は19世紀の植民地時代から無計画に建設され、24棟のうち14棟は築40年以上がたち痛みが激しく、また内戦中に設備投資がなされなかったため施設・機材共に老朽化が著しく、サービス改善のための施設改善・更新が求められている。しかしながらスリランカ国政府の資金不足により、同病院の施設の本格的な整備や必要な医療機材の調達が困難であり、保健医療サービスの改善が困難な状況にある。そのため、当該プロジェクトによって、同病院の中央機能に関わる施設・機材改善を図るべく、中央機能棟の建設、手術・滅菌・集中治療・検査・画像診断等の医療機材を調達するものである。

##### (2) 当該国における保健セクターの開発政策と本事業の位置づけ

スリランカ国政府は、国家開発計画の最上位に位置付けられる「マヒンダ構想（2010年-2016年）」および保健省が定める「保健マスタープラン」（2007年-2016年）において「地域間格差の是正」を打ち出している。本事業は、紛争影響地域の地域中核医療施設となる第3次医療施設としての機能が不十分な病院施設の拡充・改善を進め、国内の保健医療サービスの格差是正に貢献するものであり、スリランカ国政府の政策方針と合致するものである。

##### (3) 保健セクターに対する我が国及びJICAの援助方針と実績

スリランカ国別援助方針における事業展開計画では、「脆弱性軽減のための社会基盤整備」（小目標）における保健医療プログラムに位置付けられており、右方針に合致する。我が国は、国際場裡において継続的に保健セクターへの強いコミットメントを表明してきており、2008年洞爺湖サミットでは国際社会への保健医療分野における支援の強化を表明した。スリランカにおいて、我が国政府及びJICAは、1970年代から保健医療分野を支援重

点分野の一つとして無償・有償・技術協力を組み合わせた①基幹医療施設整備、②人材育成及び保健医療制度支援を実施し、スリランカにおける保健医療制度の枠組み作りに貢献してきた。近年では、無償資金協力「アヌラダプラ教育病院整備計画」(2008-11)による第3次医療施設整備を行うほか、技術協力プロジェクト「健康増進・予防医療サービス向上プロジェクト」(2008-13)、「5S/TQMによる保健医療サービス向上プロジェクト」(2009-12)等、技術協力を通じた人材育成や保健医療制度改善、予防医療の拡充を支援し、多角的に保健システムの強化を図ってきている。

#### (4) 他の援助機関の対応

保健セクター支援については、世界銀行が「保健セクター開発プロジェクト」(2004-2010、72.6百万ドル)「同追加プロジェクト」(2009-2011、26.7百万ドル)で州保健局の強化及び1次医療施設を中心とした施設整備、保健サービス向上及び保健省の機能強化を図ってきた。また、WHOは「WHO国別協力計画」に基づき、保健医療システム強化、感染症・非感染症対策、緊急事態準備・対応、母子保健・リプロダクティブヘルス等の分野での人材育成及び政策策定支援を実施している。UNICEFは、①母子栄養改善、②紛争影響地域の基礎保健サービス改善、③小児科関連の施設・機材の拡充を行っている。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業の目的(協力プログラムにおける位置づけを含む)

ジャフナ教育病院において、中央機能棟の建設及び中央手術部等の施設整備をすることにより、同病院の保健医療サービスの改善を図る。

#### (2) プロジェクトサイト/対象地域名

スリランカ国北部州ジャフナ県ジャフナ市

※裨益対象の範囲及び規模はジャフナ県(約55万人)とその近隣地域住民(北部州住民:人口100万人)を想定。

#### (3) 事業概要

##### 1) 土木工事、調達機器等の内容

中央機能棟(延べ床面積6,870平方メートル)の建設および中央手術部・集中治療部・中央検査部・中央画像診断部に必要な医療機材の調達

##### 2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

医療機材の維持管理指導及び操作指導を実施する。

#### (4) 総事業費/概算協力額

概算事業費 22.98 億円

① 建設費 16.72 億円、 ② 医療機材費 4.90 億円、 ③ 設計監理費 1.36 億円

#### (5) 事業実施スケジュール(協力期間)

2010年4月～2012年8月を予定(計約29ヶ月。詳細設計・入札期間を含む)

#### (6) 事業実施体制(実施機関/カウンターパート)

事業実施機関:保健省、ジャフナ教育病院

#### (7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

##### 1) 環境社会配慮

①カテゴリー分類: C

②カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2004年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

## 2) 貧困削減促進

全人口に占める貧困層の割合を示す貧困率（スリランカ国政府統計局「2009-2010年間統計」）をみると、全国平均 8.9%に対し、本事業対象地域である北部州は 12.8%と貧困率が高い地域であり、本事業による保健医療サービス向上により、貧困層の生活環境改善に直結する。

## 3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）

地域の医療体制整備により、女性、障害者等への医療サービスの拡充につながり、健康改善等に貢献することが期待される

## (8) 他援助機関等との連携・役割分担

特になし。

## (9) その他特記事項

特になし。

## 4. 外部条件・リスクコントロール

気候条件（洪水等）及び不測の地雷や不発弾の埋没。

## 5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

過去の無償資金協力「ラトナプラ総合病院整備計画」（2000-2003）に対する事後評価等から、開発効果の発現には、確実な維持管理体制の確立が重要であるとの教訓が得られている。

上記を踏まえ、本事業では事業実施にあわせ、人材育成・維持管理体制の支援を図り、適切な維持管理体制を確立できるよう、ソフトコンポーネントを投入し、丁寧な実施促進支援を図っていく予定である。

## 6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

### (1) 妥当性

本事業は、3次医療施設等の拡充・改善により、地方住民への基礎的な医療サービス向上に貢献するとともに、国の保健政策・方針である「地域間格差の是正」の開発目標達成に貢献するものであり、本事業を実施する意義は非常に高い。併せて、スリランカ国別援助方針にも合致する。

### (2) 有効性

#### 1) 定量的効果

指標名	基準値（2007年）	目標値（2015年） 【事業完成3年後】
手術件数（件/年）	23,229 （うち大型手術件数：5,786）	増加する

検査件数（件/年）	434,706	増加する
外来患者数（人/年）	448,325	増加する
コロンボ首都圏の3次医療施設に移送される患者数（人/年）	506	減少する

2) 定性的効果

北部州における医学教育の質の向上、対象地域住民の健康状態の改善

**7. 今後の評価計画**

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6. (2) 1) のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・事後評価                      事業完成3年後

以 上